

# 平成30年度 秋田県雄勝地域保健医療福祉協議会 議事録

日時 平成31年3月13日(水) 午後2時45分～3時45分

場所 雄勝地域振興局大会議室

## 出席委員 (五十音順)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| ・秋田県薬剤師会湯沢雄勝支部長     | 池田智美  |
| ・湯沢商工会議所副会頭         | 岡田一   |
| ・湯沢雄勝食品衛生協会長        | 小原新治  |
| ・湯沢雄勝地区衛生組織連絡協議会理事  | 門脇忠治  |
| ・南教育事務所雄勝出張所長       | 近藤幸一  |
| ・湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会長 | 近野功   |
| ・県南地区介護支援専門員協会副会長   | 佐々木尚敏 |
| ・湯沢市雄勝郡医師会長         | 佐藤政弘  |
| ・湯沢市雄勝郡歯科医師会長       | 柴田貞彦  |
| ・雄勝中央病院長            | 天満和男  |

## オブザーバー

- |            |       |
|------------|-------|
| ・湯沢市健康対策課長 | 佐藤久美子 |
|------------|-------|

## 欠席委員

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ・湯沢雄勝地区食生活改善推進協議会長  | 榎本鈴子 |
| ・湯沢市社会福祉協議会長        | 久米法順 |
| ・湯沢市福祉保健部長(兼)福祉事務所長 | 佐藤恒雄 |
| ・秋田県看護協会湯沢雄勝地区支部長   | 佐藤友子 |
| ・湯沢市長               | 鈴木俊夫 |
| ・湯沢地区結核予防婦人会連合会長    | 中山孝子 |

## 事務局職員

- |   |      |
|---|------|
| ・秋田県雄勝地域振興局福祉環境部長(兼)湯沢保健所長                | 伊藤善信 |
| ・秋田県雄勝地域振興局福祉環境部次長<br>(兼)福祉企画課長(兼)湯沢保健所次長 | 小國爾  |

他職員7名

## 開 会

### 福祉環境部長あいさつ

#### 会長選出

会長には委員の互選により鈴木俊夫委員が選出され、副会長には会長の指名により佐藤政弘委員が選任された。

また、議長は鈴木会長欠席のため佐藤副会長が選出された。

#### 議事録署名人の選出

池田委員と佐々木委員が議長から指名を受け、議事録署名人に選出された。

#### 協議会の成立宣言

委員16名中10名の過半数が出席していることから、条例第5条第3項の規定により、会が成立していることが宣言された。

## 報 告

### 平成30年度地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会及び 献血推進部会での協議結果

地域医療推進部会は佐藤委員、救急・災害医療検討部会及び献血推進部会については天満委員から協議結果を報告した。

#### 柴田委員

歯科医院の連休中の診療体制については、各歯科医院の判断で開院するほか、歯科医師会として当番制で開院する予定となっている。当番医については、市町村広報等で周知したいと考えている。

## 協 議

### (1) 平成30年度主要事業実施状況について

各課の事業実施状況について、各課長から事前配付資料に基づき説明した。説明後、一括して質疑応答。

#### 佐藤議長

ひきこもり対策の取組について、近年大人のひきこもりが増えていると聞いたことがあるが、概数は把握しているか。

#### 事務局（小國次長）

今年度、内閣府で成人のひきこもりについて調査するとの報道があった。その調査結果をもとに今後人数が公表されるものと思われるので、現時点ではそのような数値は持ち合わせていない。

### 天満委員

アルコール健康相談事業に関して、私の病院にもアルコール問題を抱える患者が来院し、治療の継続という点で難しいものと捉えているが、健康相談した後の本人の状況はどのようなになっているのか。

### 事務局（吉田副主幹）

相談した家族や本人に対しては、「依存症を考える会」の紹介や専門の医療機関の紹介にとどまっているのが現状である。

今年度、湯沢雄勝地域を対象とした「湯沢アディクション問題を考える会」が発足し、月1回の定例会を実施しているため、以前よりは紹介しやすくなっている。

### 事務局（伊藤部長）

アルコール問題に関する相談については、これまでは精神障害（保健）の中の相談の一つとしていたが、今年度県でアルコール健康障害対策推進計画を策定し、来年度から各福祉環境部単位で、二次医療圏毎に研修会を実施するなどして対策を進めていく予定としている。

## （２）平成31年度雄勝地域振興局重点施策推進方針、及び福祉環境部関連事業について

事務局から事前配付資料に基づき説明した。

説明後、一括して質疑応答。

### 天満委員

「企業博覧会」に2年続けて参加させていただいたが、非常に良い取組だと感じている。あまり表に出ない地元の企業が子ども達にPRする良い機会になっていると思う。この事業の参加対象は高校卒業後、直ぐに就職を希望する生徒ということによいか。

### 事務局（小國次長）

当初は高校生のみを対象とした事業であったが、現在は中学生向けの企業博覧会や小学生向けの体験学習会も実施している。

### 佐藤議長

平成30年度の事業実績の中で、入浴事故の死亡者数については、交通事故死の3倍以上と説明があったが、実際に中央病院にも入浴事故で搬送されていると思われるが、どのような状況で搬送されるか、天満委員から説明していただけないか。

#### 天満委員

搬送されてくる方はやはりご高齢の方がほとんどで、発見が遅くなってしまいうケースが目立つ。一人暮らしのほか、高齢者同士の世帯や、認知症の方もいたようだ。

#### 佐藤議長

搬送される方は亡くなってしまいう方が多いのか。

#### 天満委員

心肺停止で運ばれる方はほとんどが亡くなってしまいう。死因としては脳内で出血したり、詰まったりすることによって体が動かなくなり、そのまま沈んでしまいう溺死となったり、出血等が無くても何かしらの持病等によって意識障害をきたすものと考えられる。

### 閉 会

午後3時45分に閉会を宣言し、平成30年度雄勝地域保健医療福祉協議会は終了した。